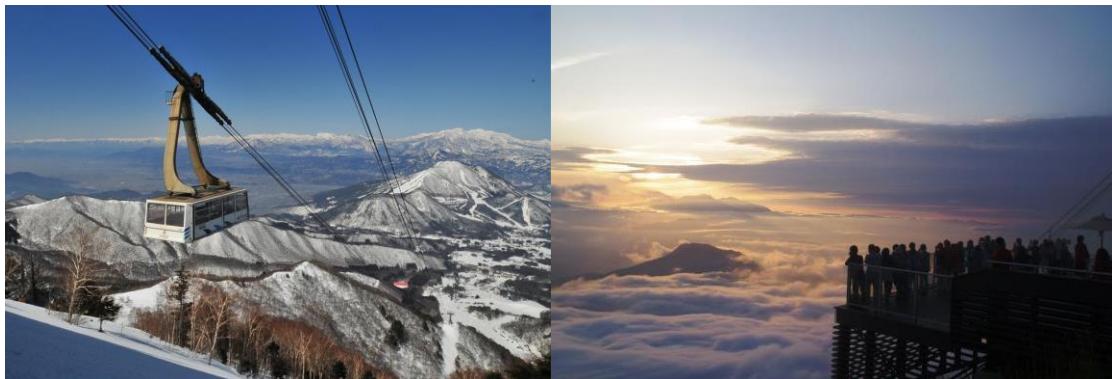


索道事業安全報告書(2025年度)



2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日

竜王第 1 クワッドリフト
竜王第 2 ペアリフト A 線
竜王第 3 ペアリフト
竜王第 4 ペアリフト A・B 線
竜王第 9 ペアリフト
竜王第 10 ペアリフト
山頂第 1 クワッドリフト
山頂第 3 ペアリフト
ロープウェイ (Vessel)

**株式会社北志賀竜王
竜王スキーパーク**

竜王スキー場ご利用の皆様へ

いつも竜王スキー場並びに SORA terrace をご利用いただき誠にありがとうございます。
また、当スキー場索道事業に対してご理解・ご協力について誠にありがとうございます。

当社では運営に関するあらゆる問題を解決し、非日常的な時間と空間を演出することにより、多くの方に自然の素晴らしさ、ウィンタースポーツの楽しさを味わって頂くことを使命としております。これらすべてにおいての礎は『安全確保』と考え、安全を最優先する意識と改善を徹底、法令を遵守し、適切な運営を行って参ります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当社の取り組みや安全の実態について、お客様をはじめあらゆるステークホルダーの皆様にご理解いただくために作成させて頂いております。当スキー場索道事業の安全輸送に役立てるたく、皆様からのご意見を頂戴できれば幸いでございます。

2025年12月1日 公表
株式会社 北志賀竜王 竜王スキー場
代表取締役社長 西口 昌司
安全統括管理者 関 誠

1. 安全基本方針と安全目標

安全基本方針

当社の企業理念として、人命を尊重し、安全と健康を重視することを掲げております。さらに当スキーゲレンデの経営理念の第一は安全確保においております。安全第一の意識をもって索道事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するため『安全基本方針』を次のように掲げております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全目標（2024年8月から2025年7月）

当社では全社一丸となった安全管理体制の強化をするべく運輸安全衛生マネジメント制度に従い日々の安全運行に努めています。今後においても更にコンプライアンスを重視し、全社一丸となった安全最優先の意識向上、事故トラブルを未然に防ぐ対策を取ってまいります。また、過去に当社で発生しました事故の分析及び対策をマニュアル化し、リスクアセスメントの実施や事故トラブルなどを全社員に周知徹底し改善を進めております。事故のみではなく危険の予知・予測および事故には至らなかったヒヤリハット事例についても漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を実施する体制を整備いたします。

索道輸送安全目標（2024年8月から2025年7月）

- | | |
|-----|--------------------------|
| 目標1 | ： 人身障害事故発生0件 |
| 目標2 | ： 索道保安設備から起因する事故0件 |
| 目標3 | ： 索道スタッフの不安全行動から起因する事故0件 |

2. 事故等の発生状況と運休状況

- 索道運転事故 0件
- 索道人身障害 0件
- インシデント 0件
- 災害 0件

全従業員へ安全意識の向上のため朝礼では安全原則の唱和などを実施しております。また安全運行の推進のため天気予報システムを導入しており、雷や暴風雨雪等の自然災害が発生した場合、早期の運休などの判断を実施しております。

3. 索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み索道スタッフ教育

新人研修およびシーズン開始時やシーズン中に安全運行に関する研修・救助訓練を定期的に実施し、緊急時においても迅速に対応できる人材育成を実施しております。研修は経験者・未経験者に関係なく、スタッフ全員が受けられるよう数回に分けて実施しております。また日々のヒヤリハット収集を行い、他スキー場で発生した事故・トラブル事例においても速やかに朝礼などで共有し注意喚起と安全向上に努めています。

4. グループ会社の取り組み

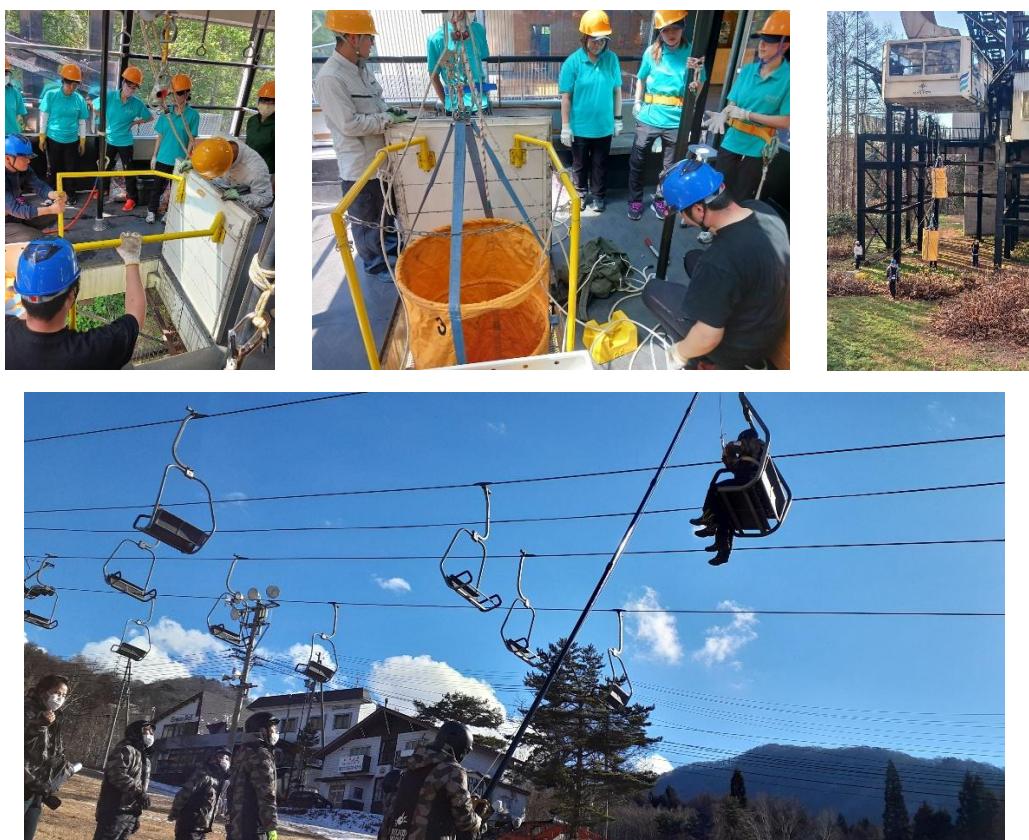
日本スキー場開発(株)グループ会社にて、索道における事故・トラブル・ヒヤリハットについて他事業者を含む事例の分析対策、技術情報の共有を行い、安全性の更なる向上に努めています。

お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板を設置しています。また、場内放送内容や乗客係・誘導係の活動を分析し見直しを行い安全な乗車を促進しております。

緊急時の対応訓練

緊急時においてお客様の安全な誘導が出来るように、索道運行停止時の救助訓練・予備原動操作訓練など大規模災害発生時の事業継続計画（BCP）を想定した訓練等をリフト・ロープウェイに関わらず実施しております。



緊急時に連携をとる近隣救急施設

山ノ内町消防署

北信総合病院

感染症防止対策

場内各施設に消毒液の設置および施設内の定期的な消毒を実施し、ロープウェイにおいてはコロナ禍以来乗車人数を制限して運行しております。
ご来場のお客様についても防止対策へのご協力をお願いしております。

5. 索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。各リフトは主に以下です。

■竜王第1ケワッドリフト（ベースリフト）

索受け整備・受索輪交換・握索機整備・場内押送装置整備

■竜王第2ペアリフトA線

索受け整備・受索輪交換・握索機整備

■竜王第4ペアリフトA・B線

索受け整備・索輪交換・握索機整備

■竜王第9ペアリフト

索受け整備・索輪交換・握索機整備

■竜王第10ペアリフト

索受け整備・索輪交換・握索機整備

■山頂第1ケワッドリフト

索受け整備・索輪交換・握索機整備・場内押送装置整備

シーケンサユニット更新

■山頂第3ペアリフト

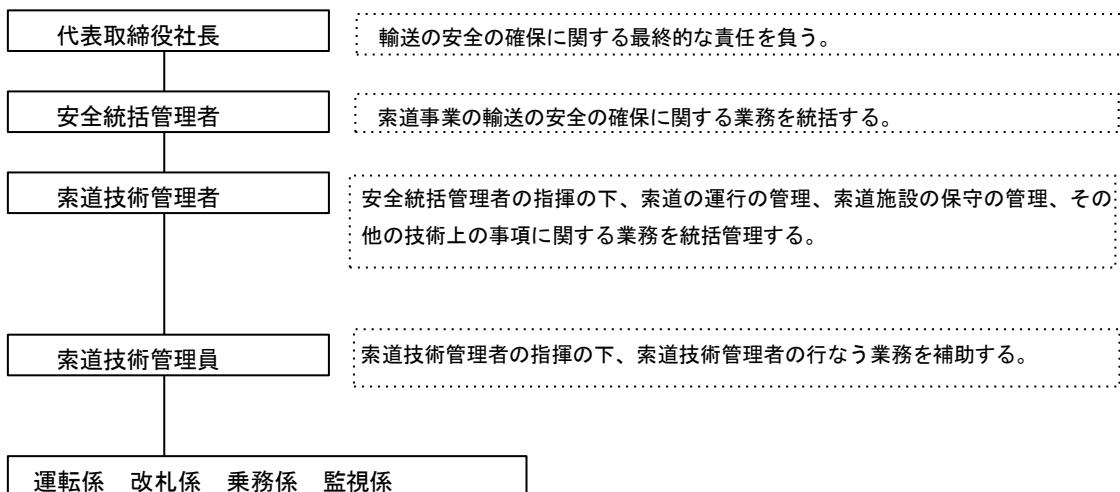
索受け整備・索輪交換・握索機整備・制動装置整備

■竜王ロープウェイ（Vessel）

索受け整備・索輪交換・走行輪交換

6. 当スキーコースの安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全の PDCA サイクル機能の検証や内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果によって適時改善を行っています。

7. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内にいるスタッフへお客様の声をお聞かせください。より安全やサービス向上への参考とさせて頂きます。また当スキー場ホームページからでもご意見をお待ちしております。

(2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードは雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故となる恐れる原因が多くございます。標識の有無に関わらずスキー場のコース内外の状況を判断し事故を起こさない行動および自然災害に巻き込まれないため十分に注意し滑走をお願い致します。

当スキー場では事故を無くすよう常に努めていますが、安全のために何よりも大切なことは、スキー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形にご注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態にご注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突にご注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輌など人工の障害物にご注意願います。
6. 他のスキー・スノーボーダーとの接触にご注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分にご注意願います。
8. スキー場内では、パトロールや係員の指示・忠告に従って下さい。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいようお願い申し上げます。

8. ご連絡先

本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒381-0405 長野県下高井郡山ノ内町大字夜間瀬 11700

竜王スキーパーク 索道課

Tel 0269-33-6345 Fax 0269-33-6166

E-mail r-info@ryuoo.com